



日誌用

電報

次長宛

昭和一九、七、三一
受付
提出

第五航空軍參謀長

五航軍漢參電第一一七六號(電誌、一部未着ナルヲ取敢ス配布ス)

七月二十八日戦闘要報其ノ一

一 第一飛行団ノ戦闘隊主方(飛行第二十五戰隊一機一六機、飛行第

四十八戰隊一機三機)ハ十四時前後岳州南側上空ニ於テ「B-12

五」一六機内外、「P-140」「P-151」三十數機ヲ邀撃シ「P-

151」三機ヲ撃滅シ(内不確實一)同五機ヲ撃破セリ

我方方

在新行飛行機隊ハ二式戦闘機六機ヲ以テ霸王城上迄前進中ナ

時四十二分「B-125」四機、「P-40」一二機ヲ捕掘攻撃シ
「B-125」一機ヲ撃墜。「P-40」三機、「B-125」一機ヲ擊
破セリ

我方方損害ナシ

其防時飛行隊飛行第四十四戰隊ハ拂曉印塔海(永豐西南五行)周邊
ノ目風約二〇〇ノ敵部隊及坪村(津郷南東一七行)附近ヲ敗走中
ノ敵機隊ヲ燃焼甚大ナル損害ヲ與ヘ更ニ第一線各兵團ノ戦闘直接
協力セリ。飛行第六戰隊ハ一部ソ以テ夕刻行州北側ノ敵機據
點ヲ燬撃。大成果ヲ收メ
(電註、以下一部未著)



日誌用

極秘

電報

次長宛

七三二〇八〇〇發 七三二〇三五五提封

昭和一九、八、一

第五航空軍參謀長

五航軍漢參電第一二〇二號

航空軍戰鬥要報（七月二十九日）

一、第一飛行團、第二飛行團ハ輕爆隊ノ主力ヲ以テ

二十九日夜柳州及桂林攻撃ニ向ヒタルモ同方西

ノ天候不良ニシテ攻撃シ得ヌ一部（飛行第九十

戰隊、飛行第十六戰隊）ハ柳州及芷

江飛行場ニ進攻シ在地敵機ヲ爆撃炎ト大型二機

小型九機計一一機ノ戰果ヲ收メ無事歸還セリ

二、飛行第九戰隊ハ二式戰鬥機五機ヲ以テ霸王域上

空哨戒中十一時前後、B-1九機、B-1二五五機

「B-1」四機ヲ捕捉攻撃シ、「B-1」二機ヲ撃墜セ
リ更ニ十五時三十五分同地上空ニ於テ歸還中ノ
「B-1」三機ヲ邀撃シ内ニ二機ニ對シ砲撃ヲ加ヘ一
機ヲ撃破セリ

我ガ方何レモ損害ナシ

三、第三飛行團ハ戰襲協同シ「二式」戰闘機九機襲撃
機八機偵察機二機ヲ以テ十六時八分梧州ニ進攻
シ飛行場滑走路ヲ爆撃同飛行場ノ使用ヲ拘束セ
リ

四、臨時飛行隊ハ飛行第四十四戰隊ヲ以テ旭集團第
一線各兵團ノ戰闘ニ密ニ協力セリ

(終)

0928

357

印
志
用
極
秘

電
報

七三一三三四五號
八一〇二〇五著
八一〇八三〇受付
八一八五〇提出

昭和一九.八.一

通電先
次長、城本、支那、第一飛行團、第二飛行團、青井飛行第九
戰隊、加加美第八飛行師團、波信、討
五航軍參謀部第一二〇八號

七月二十九日敵機來襲狀況

一 中支方面

- (1) 八時十六分—十九時四分ノ間
九回延五〇機（「P I 三八」一他八「P I 四〇」）
以上「卜」號戰機ニ來襲
- (2) 十一時五分—十一時四十分ノ間
「P I 三八」一機、荆門—岳陽—信陽
十三時四十分、岳州附近偵察
- (3) 二十二時四十五分、「B I 二五」一機

358

0929

漢口飛行場附近燃爆、損害ナシ

ニ北支方面

(1) 十一時二十六分「B」二五〇一五、「P」四〇一五

閉封停車場燃爆、建築物大破、客車、貨車各一〇焼失、機関車

貨車一〇破損、重傷者二六名

責焼焼夷弾ヲ使用セリ

北支及滿洲方面ニ出撃セル「B」二九一ノ中、北支方面ニ於テ

燃爆セルモノ十時五分―十一時ノ間ニ陝西ヲ東北進セル四七機

十五時瀋州ヲ東北進セル四機、計五一機、歸還時十五時三十分

―十六時四十分ノ間閉封及新心附近ヲ西進又ハ西南進セル三四

機、十八時十分―十九時三十分ノ間瀋州ヲ西進セル一〇機、

計四四機ナリ、内行動ノ判明セルモノ、十一時十五分―十五時

ノ間鄭州市行前王城對岸新心附近及瀋州ヲ西進セル二三機

ニシテ、後一部二〇機内外ハ十一時―十二時ノ間崑崙山嶺附近

ヲ北上シ入前セルモノノ如シ

霸王城附近上空ニ於ケル越壕ニ依リ「B-129」一機墜落同
一機墜落黒煙ヲ吐カシム（不時著セシコト概ネ確實ナリ）

(8) 二十時三十五分「P-140」六機藩州附近ヲ統壕ス
南支方面

(1) 二十二時十五分「B-125」二機・自
雲飛行場ヲ爆撃ス。損害ナシ

(2) A情ニ依レバ二十二時三十五分敵機「B-124」香港東
南約一二〇浬ノ海上ニ我が機送附聞七機ヲ発見スト報告シア

(終)

320

0001

極秘親展

0932



起

目誌用

電報

昭和一九二八年
八月二日
航空軍部
航空部
航空隊

昭和一九二八年
八月二日

通電先 次長、甲、乙、仁、榮、南京、第二航空軍

参考 内地各軍

五航軍漢參電第一一八五號

司偵ノ捜索ニ依レバ(二十八日)

一吉縣附近ハ山地ニシテ飛行場ヲシキモノヲ認メズ

一西安寶鷲南飛行場共ニ從來ト變化ナク使用可能ナリ

一谷口(西安南)南方三〇料(飛行場)長サ一七〇〇×幅五四〇

一張ツ開始豫定通過遊シアリ

一華陰(潼關西西南一五料)西方約一二料ニ新設飛行場ヲ發見ス

一長サ一九五〇、巾一〇〇米ノ滑走路略々完成シ使用可能ナリト認

メラルルモ未ダ使用ノ形跡ヲ見ズ

(終)



日誌用

電報

昭和一九二八年八月二日

八二〇六〇卷 八二二〇 受付
八二〇三〇著 八五〇 提出

第五航空軍參謀長

通電先、次長、航本、第一、第二飛行團、飛行第九戰隊

吉井鏡、第八飛行師團、波、信、討、支總

五航軍漢參電第三三二號

七月三十日敵機來襲狀況

一中支那方面

(1) 九時六分—二十二時三十七分ノ間確認セルモノ六回、P-40

延二十三機以上「ト」號戰場ニ來襲ス

△情ニ依レバ外ニ三〇機(内「B-15」二)以上中華方面ニ出撃

シアルモ詳細不明

(2) 十一時二十五分—十三時ノ間「P-13」一機應城、安陸、荊

門方面及漢口附近ヲ偵察

(3) 二十二時十七分—二十二時五十分ノ間「B—四」延〇機内外
三機又ハ軍機ヲ以テ武漢地區ニ進入シ主トシテ碼頭附近
ヲ爆撃ス、復戦ニ機之ヲ激撃シ「B—四」機ニ多數ノ
有効彈ヲ與ヘタルモ撃墜ヲ確認スルニ至ラズ
鐵道聯隊ノ燃料セ〇—〇〇本炎上、戦死三、重傷一七、運
送船一隻至近彈ニ依リ一部破損(航行ニ支障ナシ)ノ外軍事
施設損害ナシ

ニ北支方面

(1) 十一時六分「P—四〇」六機、襄城、許日附近ニ來襲ス

(2) 十二時二分不明機四機、高空ニテ陝縣附近ヲ北東進ス
三、南支方面

ニ、九日十七時—十七時三十分ノ間「B—四」二五機三亞楡

林地區ニ進入海軍機ノ激撃ニ依リニ機ニ有效彈ヲ與ヘ
撃退ス
自爆一七箇所炎上
陸軍關係損害ナシ

2/3

364

0936

307

0130

0937

極秘親展



機用

電報

次長宛

五航軍漢參電第一二三三號

第五航軍參謀長

ハニ 〇五三〇發
〇八一〇著
ハニ 〇八四三受付
一三三三提出

昭和一九、八、二

航空軍戦況要報（七月三十一日）

一軍ハ三十一日夜飛行第九十戰隊ノ双機九機ヲ以テ柳州ニ進攻ニ
十二時十分ヨリ逐次飛行場ノ在地敵機ヲ掃蕩ス 全機無事歸還
セリ

目下判明シアル戦果左ノ如シ

炎上大型八、小型六（不確實一）

撃破大型七、小型二

計 炎上、撃破二三機 其ノ他五箇所炎上

又別ニ飛行第十六戰隊ノ双機四機桂林攻撃ニ向ヒタルモ目撃附
近天候不良ニシテ其ノ主力ハ進攻シ得ズ内一機ハ桂林第一飛行

場ニ進攻シ大型一機炎上、大型二機ヲ撃破、其ノ他施設三箇所
ヲ直撃彈ニ依リ爆碎セリ

我方方一機未歸還（小倉曹長機）

綜合戦果

炎上 大型九、小型六（不確實一）

撃破 大型九、小型二

計 炎上、撃破二六機 其ノ他炎上、爆碎八箇所

ニ臨時飛行隊

飛行第四十四戦隊ヲ以テ第一線各兵團ノ戦闘ニ直接協力セシム
ルト共ニ羅漢史（萍湖南方約二六汗）周辺ノ敵陣地及敗走中ノ
敵機隊ヲ爆掃隊部隊ノ戦闘ニ絶エズ協力セリ

（終）

366

0939

秘



電報

次長宛

第五航空軍參謀長

五航軍漢參電第一三四四號

航空軍戰鬥概要(八月一日其ノ一)

軍ハ一日夜飛行第九十戰隊ヲ以テ桂林第一、第二
飛行場ニ飛行第十六戰隊 双輕五機ヲ以テ芷江
飛行場ニ進攻在地敵機ヲ爆撃手シ全機無事歸
還セリ

目下判明シアル戰果左ノ如シ

桂林攻撃炎上大型一五? 小型一七 不明機一

撃破大型一 小型二三 計炎上撃破五七? 機其他

炎上三箇所 芷江攻撃火炎上小型六 撃破大型一

八三二六〇〇 發
三三〇〇 著
三三二四〇 受付
三〇三三〇 提出

昭和一九、八、三、

1367

0940

小型九計[?]炎上[?]撃破一六機[?]其他四箇所爆[?]炎上綜合戦果[?]炎上撃破七三機[?]其他炎上[?]爆[?]六箇所[?]尚三十一日[?]夜間飛行第九十戦隊ハ[?]双輕各[?]一機[?]以テ丹竹及恩施ニ進攻シ[?]飛行場滑走路[?]爆碎スルト共ニ丹竹ニ於テ在地セル大型一機[?]小[?]二機[?]其他二箇所ヲ炎上セシメタリ[?]

(終)

368

0941

電報

次長宛

五航軍漢參電第一三四七號

五航軍漢參電第一三四四號

ヲ左ノ如ク訂正ス

桂林第一飛行場(大機)

炎上大型一三、小型一三、擊破大型一、小型一七

計四四機

桂林第二飛行場(一機)

炎上大型二、機種不明機一、擊破小型三

計六機

柳州飛行場(一機)

昭和一九、八、三

八、二、三〇發
八、三、三〇發
八、三、三〇發
八、三、三〇發
八、三、三〇發
八、三、三〇發
八、三、三〇發
八、三、三〇發
八、三、三〇發
八、三、三〇發

第五航空軍參謀長

炎上小型四、撃破小型三、其ノ他炎上二箇所
計七機

丹竹飛行場(一機)滑走路爆碎

芷江飛行場既報ノ如シ

綜合戦果

炎上爆破七三機其ノ他炎上爆發六箇所ニシ

報ト變化ナシ

(改)

0943

370

極秘至急

日誌用

電報

昭和一九八
八二〇八三〇發
一〇〇著八三二二〇後付
三五三提
第五航空軍參謀

次長宛
五航軍漢參電第一三二號

(電註一部未著再電要求中是取敢不配布)

航空軍戦闘概要(七月三十日)

臨時飛行隊ハ引續キ旭集團ノ地上作戰ニ協力ス
行第四十四戦隊ヲ以テ拂曉後亭(衡陽西方八軒
黃柏咽(後亭東北方二軒)附近ニ於ケル目視
六〇〇ノ敵部隊ヲ爆撃シ之ヲ撃摧スルト共ニ第
各兵團ノ戦闘ニ直接協力セリ
尚二十九日拂曉馱子鋪(潭市西南方約一五軒)附
近ヲ東進中ノ約一〇〇ノ敵部隊ヲ爆撃シ更ニ木皮

漳(漳市南南西約一〇里)附近連水江上ノ敵船
三隻ヲ撃沈セリ

二 第八飛行團ノ飛行第十六戰隊ハ複戰ニ機ヲ以テ
三十日夜武漢來襲ノ敵機ヲ邀撃四次ニ互リ捕捉
及撃シB-1四一機ニ多數ノ有效彈ヲ與ヘタルモ
撃墜ヲ確認スルニ至ラズ

三 第五十七飛行場大隊ハ二十九日十九時三十分同飛行場
ニ來襲セルP-1四〇一五機ヲ地上火器ニ依リ應戰
内ニ機ヲ撃破セリ(A情報ヨリシテ不時著又ハ撃
墜概ネ確實ナリ)四諾不明(電註以下未著)

372

0945

目録



電報

八三二三五五發
一七三七著
八三六一二〇受付
四〇六三及提出

昭和一九、八、四

通電先 次長、抗本、支總、第一、第二飛行團、飛行第九隊隊長、吉井
加加美、第八飛行師團、波、信、前

五航五演習電第一二三一號

七月三十一日敵機來襲状況

一中支方面

(1) 九時三十七分—二十二時三十一分ノ間確認セルモノ一〇回、延五

〇機「B—115」一他、「P—40」一「P—51」以上「E

號機場ニ來襲ス

(2) 十三時二十四分「P—40」一機南林浦(武昌南方約一〇〇軒)

附近ヲ旋回後南進ス

(3) 十三時三十三分—十四時三十二分ノ間「P—38」一機大橋舖—

三套口—南昌方面ヲ偵察ス

(4) 二十二時三十分―二十二時三十九分ノ間「B1二四」五―六機武昌飛行場及漢口市街ヲ爆撃ス

二機二機ヲ以テ邀撃内一機ヲ捕捉攻撃セラルモ墜スルニ至ラズ

兵舎一部半壊、下士官一機死、兵一重傷、貨物廠、建築材料庫ヲ燒失

(5) 二十三時四十二分―一時六分ノ間警戒機ニ依レテ敵機信陽北方附近ヲ東進スルモ爾後ノ状況不明

北支方面

九時五十五分 中型機一機鄂城附近ヲ南西ニ飛去ス

南支方面

(1) 二十二時三十九分―零時二十分ノ間「B1二五」三機以上廣東飛行場ヲ爆撃

行場ヲ爆撃

(2) 海軍情報ニ依リ當電第一二二一號(電註、八月二日配布)第三項ヲ左ノ

如ク訂正追加ス、二十九日十七時―十七時三十分ノ間「B1二四」

一五、「B1二五」五、「P1三八」五、三亞榆林地區ニ進入、海軍

機ノ邀撃ニ依ル墜「B1二四」一、「B1二五」各一、「P1三八」三

我方方落下傘降下一、七箇所炎上、戦死傷約五〇

陸軍關係ナシ

極秘親展

電報

昭和一九.八.五

第一航空隊 第五航空隊 參謀長
加加美 第八飛行師團 波信 討

通電先

次長、航本、旭、總章、第一、第二飛行場、百井、飛行第九隊

五航軍漢參電第一二四八號

八月一日敵機來襲狀況

中支那方面

- (1) 十時五分 - 十八時六分ノ間確認セルモノ一〇機延三四機 (主トシテ「P-I四〇」以上「ト」號戰場ニ來襲)
- (2) 十二時三十分 - 四發一機際州附近ヲ東北進セリ (啓情報)
- (3) 十二時四十五分 - 十三時九分ノ間「P-I三八」延二機岳州及漢口ノ附近偵察
- (4) 二十二時八分 - 零時十五分ノ間「B-I二五」五機單機毎

二武漢地區ニ進入内一機ハ漢口飛行場兵舎附近ニ爆彈及時限彈
投下後一機返還スルモ捕捉スルニ至ラズ・損害ナシ

二北支方面

(1) 八時五十八分・不明機一機・高度一萬米・天津上空通過(甲集
團情報)

(2) 十時三十五分・爆機二機(内双發七)鄭城附近ニ來襲セルモ
ノノ如キモ詳細不明ナリ

二南支那方面

(1) 十六時一P一三八一機三亞・榆林地區ヲ偵察

(2) 二十二時一零時三十分ノ間一B一三四一機一B一三五二單機
毎ニ廣東周邊ニ進入市街附近及天河飛行場ヲ爆撃飛行場ニ數回
投下セラレタルモ使用ニ差支ナシ

(終)

極秘至急

日誌用

電報次長宛

昭和一九八五年

八月三十一日

第五航空軍參謀長

航空軍戰團概要(八月一日其ノ二)

臨時飛行隊八旭集團ノ地上作戰ニ協力

一部ヲ以テ本拂曉岩部隊ノ攻撃目標ニ

林地帯爆碎同部隊戰闘ヲ支援シ飛行第十四戰隊

ヲ以テ新橋及永豐市街軍事施設ヲ爆碎セル外第一線

各兵團ノ戰闘ニ直接協力セリ

(電註以下未著)

3377

0950

極秘至急

日誌用

電報
次長宛

五航軍漢參電第三六三號

昭和一九四〇年八月五日
八四〇三〇發八四一五〇發付
第五航空軍參謀長
提出

航空軍戰鬥概要(八月二日)

一、軍八二日夜飛行第十六戰隊、双輕三機ヲ以テ安康

飛行場ニ進攻、零時五十分—一時十分間在地敵機

ヲ爆撃大型一機ヲ突上、大型一機、小型四機ヲ撃破

セリ、新式一機未歸還(戰隊長 森中佐搭乘)

尚南支方面ヨリ夜間桂林攻撃ヲ企圖セルモ同方

面天候不良ニシテ進攻ヲ中止セリ

二、臨時飛行隊ハ旭集團ノ地上作戰ニ協力シ飛行第六戰

隊ヲ以テ天明ト共ニ衡州市街南側敵據點ヲ爆撃ス

上セシメ飛行第四十四戰隊ハ拂曉衡州北側及東南
側敵陣地ヲ爆碎セリ外第一線各兵團ニ直協効ニ旭
集團戰闘司令所、衡陽推進ニ協力セリ
三、第二飛行團ハ襲撃機ヲ以テ馬頭嶺(遂慶北方)
料)ノ敵陣地ヲ爆碎、友軍ノ突撃ヲ支援スル共ニ直
協隊ヲ以テ純兵團戰闘ニ直接協力セリ

(終)

不尾欠

極秘

日誌用

電報

通電先次長關係各所

五航軍漢參電第一二六七號

八月二日敵機來襲狀況

一中支方面

九時三十四分—二十二時二十一分ノ間確認セルモ

八回延四二機(内B一ニ五一)以上ノ號戰場ニ

來襲ス

A情報ニ依レバ外三七時五分—十九時五十九分ノ

間六次ニ互リ出撃シアルモ詳細不明ナリ

(一)十二時二十分—十四分七機荆門飛行場兵營ヲ銃撃

昭和一九八、五

八、五、三〇〇發
九、四〇〇發
八、五、一〇三〇發
一六、一五機出

第五航空軍參謀長

0953

シ兵營ノ一部被彈戦死傷者各一

(3) 十二時五十九分―十五時三十分ノ間P1三八一機

岳州及漢口方面偵察

(4) 十五時三十分P1四〇一機岳州附近ニ進入セル

モ我ガ邀撃ニ依リ遁走ス

(5) 二十三時二十五分雙發一機信陽附近ヲ北西進ス

(6) 二十三時十分―二十三時二十五分ノ間B1二四二

機單機毎ニ漢口飛行場外畠地ヲ爆撃ス

損害ナシ

我ガ方邀撃スルモ撃墜スルニ至ラス

(2) 當電第一二四八號(電註八月五日配布)第一ノ第

一項又左ノ如ク訂正ス

六時三十分―十九時ノ間十四回延七八機(B1二



極秘

日誌用

報

昭和一九、八、六
八六 一六〇〇號
二二〇〇番 八六 〇〇五〇交付
一三〇五提出

第五航空隊 參謀長

通電先 次長、統率、榮、中、旭、波、討
第八飛行隊、以下指揮下關係部隊

五航空隊容電第一二八二號（電証、一部未着再要求中ナルモ配布ス）

八月三日以後機來狀況

一、中支方面

(1) 八時二十一分—十八時四十四分 同宿認セルモノ—〇同—P—

四〇—延四—機以上—ト—機取切ニ來、A情ニ依レバ外ニ—

〇同内外出

(2) 九時五十分—P—四〇—二機南昌飛行場、格納庫—全毀、

擲穀油頭—八九本炎上

(3) 十一時九分—十三時五十五分—同—P—四〇—延一九滅三次ニ

直リ當陽—荆門—安慶—隨縣—應城及沙市ニ來、機兵舎又ハ市街

兵舎五棟炎上、重傷下士官一、兵五

(4) 十五時四十分「B1二四」三四破「P1四〇」一「P1五二」一

五「一六」岳州停車場ヲ爆撃、我方遊撃ニ依リ破「B1二四」

三、「P1五二」一

(5) 十六時四十二分「P1三八」一岳陽附近ヲ偵察

北支方面

(1) 十三時一分「P1四〇」八岳陽附近ヲ西進内三破ハ浦州ヲ砲

爆撃ス

(2) 二十三時十分一二十三時四十五分ノ間

(簡註、以下一週未著)

「B1二四」又ハ「B1二五」ヲ擲取ス

臺灣方面

二十四時不明機高雄西首ヲ東進スルモ進入スルコトナク西ニ道

走ス

機銃



日
月

電報

次長宛

五流軍機部第一二八三號

航空軍機部機要（八月三日）

昭和一九、八、六

一〇二二號
八〇〇〇〇〇〇
交付
出

第五流軍機部機要

軍八其ノ主力ヲ以テ祖集團ノ地上作戦ニ協力セリ。状況至ノ如シ

一 第八飛行團ハ飛行第十六戦隊ノ双座六機ヲ以テ衛州ニ進取シ二

十三時四十六分一三時四十八分ノ間市街中央砲臺ノ以中機部ヲ

爆撃シ至大ノ損害ヲ與ヘタリ

一 臨時飛行隊ハ飛行第六戦隊ヲ以テ拂堤堤部隊正前ノ衛州西雨岳

岸高地飛行場斜面及四又路ノ敵據點ヲ爆撃シ、飛行隊四十四機

隊ヲ以テ第一線各兵團ノ戦場ニ直接協力セシムル外衛州城西北

及南側ノ敵陣地ヲ爆撃シ何レモ大ナル損害ヲ與ヘタリ

一 第一飛行團ノ飛行第四十八戦隊ハ一四時九分一八時十五分四十二分

衛州上空ヲ於テP11401-P115110ノ間ニ

二四機ヲ見道以成機ト交ヘ「PY」ト五「」機、一「B」二四「」

三機ヲ以機セリ

我が方下士百一五傷

飛行第二十五機隊ハ前項以機ヲ遊シセルモ成果ヲ認セズ

以第二飛行團ハ直協隊ノ一部ヲ以テ遂に飛行場ヲ使用シ總兵團ノ

地上作戦ニ助力セリ

本早成成都飛行場群搜索ニ同ヒタル獨立飛行第十八中隊者式

偵一機ハ兒玉少佐、松木中尉搭乗一ハ故隊ノ爲近城四北万四〇

汗附近ニ不時地上救護隊ニ依リ然ニ收容セリ（機體大破、松

木中尉傷）



日機救用誌

報

昭和一九、八、六

八五、一八〇〇機
一九三〇著
八五、二〇三〇号付
六十一、五五機出

次 長 宛

第五 航 空 軍 參 謀 長

五航軍漢口第一二九七號

(官註、七月三十一日配布欠ノ分)中「保康ニ於テ」ノ次ニ挿入セ
ラレ度)

京進中ヲ確認シアリ 更ニ十五時「B129」四機瀋州東北道

ニ内「B129」四機十一時「一語不明」鄭州十二機八十一時二十

六分

386

0959

極秘至急

昭和一九、八、六

電報

次長宛

第五航空軍參謀長

五航軍漢參電第一二五四號(電話)一部未着再電要求申ナルモ配布ス

敵航空狀況(七月下旬)

一敵出撃ノ狀況

支那方面ニ對スル敵機ノ出撃ハ本旬總計一一四六以上

内中支「ト」一號機約七〇%。其ノ他ノ方面約二〇%。北支及

南支方面各約五%ニシテ依然「ト」一號方面ニ攻撃ノ重點ヲ指向

スル外我方前進飛行場ニ對シ主トシテ戦闘機ヲ以テ早曉薄暮ノ

利用竝ニ波狀攻撃ニ依リ我方著陸時等ニ乘ジ軌跡ニ攻撃ヲ反復

セリ。尙月明間始下迄夜襲兩地區「B」二四「桂林地區」B」

二五」等ヲ以テ我方夜間攻撃機ニ肩接シ或ハ翼燈ヲ點滅シ友軍機

機ト誤認セシメツツ武漢及廣東等ニ來襲シアリ。中南支ニ於ケ

ル戦爆ノ出撃比ハ約七割一ヲ示シアリテ爆撃機ノ來襲極メテ僅
少（其ノ大部ハ夜間出撃ナリ）ニシテ戦闘機ヲ以テスル戦爆用
ノ戦闘方式ヲ益々濃加セシメアルハ交戦ノ關係ニ依ルベシト雖
モ一面爆撃機ノ損耗補充ノ不圓滑トモ判断セラル

ニ補充狀況

月末ニ於ケル在支敵空軍ノ總兵力ハ戦爆六六〇機内外ト判断セ
ラレ約一四〇機内外ヲ東南支那ニ約一九〇機内外雲南地區其ノ
他西北及奧地支那ニ配置シアルモノノ如シ
敵出撃狀況等ニ依リ判断セバ其ノ増強ハ極メテ活潑ナルモノノ
如シ

軍機秘親展

A 情報 (河内及第五航空軍) に依り判定シ得タル入支機ハ本旬計
 二〇六機 (「P I 四〇」「P I 四七」「P I 五一」「一三、」P
 I 三八」八、「B I 二五」二五、「B I 三八」一六、不明機四五
 但シ會話ヲ主トシアリ) ニ違シ又露南地位ヨリ以南 (白市驛) 方
 面ヘノ追撃機ハ判明セルモノ (A 情報)、「B I 二四」五八
 (露註、以下二週未著)
 (四) ニシテ撃破大型三一、小型四九、總計二三七機ナルモ撃破
 機中更ニ修理後使用可能ト推定セラルルモノアルベキヲ以テ敵總
 兵力ハ依然増強ノ途ニアルトモノ判断セラル

2. (終)

389

0962



秘

報

昭和一九、八、七

八五〇一三〇機
〇八四二番
八七一三〇〇受付
六三〇機出

第五 航空 参謀長

通官先
次長、支線、航本、甲、旭、第一飛行団、第二飛行団
吉井、飛行第九隊、加加美、第八飛行師団、波、傳、前

五流豆漢参謀長一二九五

八月四日敵機來襲狀況

一 中支方面

(1) 七時十六分一十八時五分ノ間九回、「P I 四〇」、「P I 五一」延

六〇機以上「ト」號戰場ニ來襲我方對機ニ依リ撃墜、「P I 四〇」

二(内不確實一)、「破」P I 四〇、「P I 五一」各一

我方方自爆一

(2) 零時十分「B I 二五」一機楊林山飛行場(白蟻磯北方)爆収、滑

走路ニ一機被撃セル外被害ナシ

(3) 九時十五分「P140」一四機嘉魚(武昌附近六七軒)附近ニ來
襲撃送用重機一機攻ヲ受ケ墜落炎上ス

(4) 八月二日及三日「ト」一機戰場來襲機八五機(内「B125」
五)及六六機「P140」一以上ト訂正ス

北支方面

(1) 十時十分不明機一機蒲州上空ヲ北進十六時「P140」一〇機同

地ヲ襲撃損害ナシ

(2) 十二時十二分「B138」一機鄭州霸王城附近偵察

(3) 二十三時二十分敵機鄭州上空ヲ旋回セルモ詳細不明

南支方面

(1) 十七時三分一十八時十九分單機延二〇二機次林清遠附近ニ進入我ガ

機ニ依リ遁走ス

(2) 二十三時三十一分香港附近機音聴取(香港占領地總督部情報)

滿洲方面

十四時十分「P138」型五機白旗鞍山上空ニ遊

極秘

0964

391



電報

通電先 次長 航本

五航軍漢參編電第四七號

八六一四五六號
八六一七〇〇受付
八六一八〇〇提出

昭和一九八七

第五航空軍參謀長

八月三日安康夜間攻襲ニ於テ飛行第十六戰隊長中佐森桂中隊長操縦
大尉鈴木千之助及機上射手下士官三計五名及八月二日各務原ニ於テ
第五練成飛行隊附操縦 軍曹 吉野 孝殉職セリ右空申勸務者補
充相成度

極秘親展

392

392

0965

20885

0309

一五
六言

是夢

五三
二五

丙乙平

四三
二二

未受領機

四九

將計

准士官

現員五七

下士官定員

一七八

五八

一八六

(終)

(電註) 各項の定数合計ハ五〇八ニシテ
未項ノ五二四ト一致セズ

9960

機密至急

日誌用

電報

第八二四〇番

昭和一九八七

航空軍參謀長

航空軍戰鬥概要(八月四日)

軍其ノ主力ヲ以テ旭集團ノ衡陽城攻略ニ密ニ協カヤリ

一第一飛行團 戰鬥隊ノ戰場制空ニ次ニ五リ臨

時飛行隊ノ衡陽攻撃掩護(一部ハ衡陽北側及南

側敵據點ヲ砲爆撃シ三箇所炎上)ニ任ズ

飛行第四十八戰隊ハ一戰九機ヲ以テ第二攻進攻

時在空中ドロドロ一機ト交戦シ二機ヲ擊墜

一機不確實一機ヲ擊破セリ別ニ

飛行第二十戰隊一戰三機ヲ以テ八時五分連水
 河上空ヲ遊撃中ノド一五〇二機ヲ邀撃シ一機
 ヲ撃破セリ我ガ方自爆一（本橋大尉）
 綜合戦果 撃墜破 四機
 二 臨時飛行隊ハ飛行第六戰隊ヲ以テニ次ニ互リ第
 一飛行團戰闘隊掩護ノ下ニ衡陽ニ進攻敵機ノ材
 害ヲ肩シ岳屏高地反南側學校高地ノ敵重要據點
 ヲ爆破更ニ堤部隊直前ノ森ノ高地ニ反復銃撃ヲ
 加ヘ同部隊ノ膚接攻撃ニ密ニ協同シ飛行第四十
 四戰隊ヲ以テ拂曉衡陽城西南ノ岳屏高地反南側
 寺ノ高地ノ敵陣地ヲ爆破至大ノ損害ヲ與アルト
 其第一線各兵團ノ戰闘ニ直接協力セリ
 我が方ノ戦傷一（飛行第六戰隊）

極秘
 展覧

三 第 二 飛 行 團 直 協 隊 ヲ 以 テ 紹 興 國 地 上 戦 闘 二 直
 接 協 力 セ ル 外 襲 撃 隊 ヲ 以 テ 席 江 (遂 溪 北) 方 約 二 直
 五 料 (北 側 高 地) ノ 敵 主 陣 地 ヲ 反 復 爆 撃 純 兵 團 ノ
 戦 闘 ヲ 有 利 ナ ラ シ メ タ リ
 四 第 八 飛 行 團 八 飛 行 第 十 六 戦 隊 ヲ 以 テ 夜 間 衡 陽 攻
 撃 ヲ 企 圖 セ ル モ 同 寸 面 天 候 不 良 ニ シ テ 進 攻 ヲ 中
 止 セ リ

(終)

1395

0969



日誌用

電報

昭和一九、八、八
八七二三四〇發
八〇二〇七著
八八〇二二〇受付
一〇三〇提出

第五航空軍參謀長

通電先
次長、支總、航本、甲、波、旭、第一、第二飛行團、筆、吉井、
飛行第九戰隊、第八教育飛行師團、加加美、信、討

五航軍演習第三〇六號

八月五日敵機來襲狀況

中文方面

- (1) 九時十分、十九時二十五分、間一回、P1四〇一延五三機以上
「ト」號戰場主トシテ衡州、湘潭ニ來襲我ガ攔撃機ニ機攻撃ヲ受
ケ不時著炎上
- (2) 九時五十五分、P1四〇一六機岳州附近ヲ銃爆撃ス
我ガ攔撃ニ依リ墜機「P1四〇一」二、撃破「P1四〇一」三
我方方未歸還一、不時著大破一（搭乗者無事）
- (3) 十一時二十五分、P1四〇一ニ機隨縣附近ヲ南西進ス
南支方面ハ敵機來襲ヲ認メズ

(終)

日誌用

極秘

電報

次長宛

五航軍漢口電第一三二〇號

航空軍司令部概要（八月六日）

軍ハ依然旭集團ノ衡陽城本攻ニ協力セリ

一第一飛行團ハ戰場制空並ニ臨時飛行隊ノ衡陽攻取掩護（二次）ニ

任シ飛行第四十八戰隊（一機九機）ヲ以テ第二次進攻時「P-40」

五機ト交戦、二機墜陸、一機回収セリ

損害 未歸還一（旭集團ノ通報ニ依レバ該機ハ「P-40」二機

墜陸（不確實）一板橋（衡陽西方一八軒）附近ニ自燃セルモノノ

397

昭和一九・八・八

八七三五八發
八〇一三〇著
八八〇二〇受付
一〇〇〇提出

第五航空軍參謀長

0971

如シ

二 第八飛行團轟炸隊（飛行第十六隊、飛行第九十隊各三機）

以テ二十三日四十三分、零時十五分ノ間、衛州攻陣中、以ノ中樞部ヲ
爆碎、二箇所ヲ炎上セシム

三 臨時飛行隊ハ飛行第六隊ヲ以テ第一飛行團協力ノ下、二次ニ互リ

堤及巖部隊正面ノ攻陣地ヲ爆碎セシム、飛行第四十四隊ヲ以テ
衛州西南方天馬山及同地東部並地並ニ岳屏陣地ヲ爆碎シ、岩及堤部
隊ノ攻陣ニ協力セル外、隊隊河正面ノ攻陣地ヲ爆碎セリ（終）

00398

0972

電報

昭和一九、八、八

八七二三五五發
八八〇三一二著
八八〇四四〇受付
八八〇八一〇提出

第五航空軍參謀長

通電先

次長、大本、總軍、甲、旭、波、信、討、第八飛行師團、
第一、第二飛行團、吉井、飛行第九戰隊、加加美

五航軍漢參電第三一七號

八月六日敵機來襲狀況

一 中支方面

(1) 九時十分—十九時五十四分ノ間一六回「P140」「P152」
延七〇機我方「ト」號戰場主トシテ衡陽附近ニ來襲。我方邀撃

399

0973

ニ依リ

撃墜 「P140」二、撃破 「P140」一

我方方未歸還一（自爆セルモノノ如シ）

A情ニ依レバ芷江、桂林等ヨリ夜間戰場方面ニ物料投下ヲ爲シ

アルガ如キモ詳細不明

(2) 八月五日「ト」號戰場來襲敵機ヲ七〇機内外ト訂正ス

ニ北南支方面

敵機ノ來襲ナキモノノ如シ

(終)

電機秘親展

0974

400